

甘木朝倉 介護保険事業者 協議会 会報

甘木朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol.9 平成15年1月1日発行 第3巻第4号（通巻第9号）

Vol.9

皆様、笑顔と笑いで新年を迎えられたことと思います。
“笑顔”…とてもいい「ことば」ですね。私達日頃生活して
いく中で、会話、表情等によりお互いの意思疎通がな
されている訳ですが、相手の誰からでも笑顔で話しか
けられたり、語りかけたりすれば悪い気はしないもので
す。腹がたつた顔でいろいろ言われると「こんちきしょう、
おまえがのぼすんな…」と誰もが思うでしょう。やっぱり、
笑顔で毎日楽しく暮らす方が精神的にも身体的にもとつ
てもよいことだと思います。大きな声で笑うことは美容に
も良いと言われてます。忙しい時こそ“笑顔”を忘れ
ずに…。「笑う門には福来たる」と昔から言われていま
すが「笑って暮らすも一生、泣いて暮らすも一生」同じ
一生常に笑顔を絶やさないように仲良く元気で暮らす
ことが良いと思います。

私たちは「人を相手とし、人が行う “専門的な対人サー
ビス”」の仕事をしております。人が行うその人の質によつ
て提供するサービスが左右されます。本協議会はその
質を上げるために結成されたものであります。

私、事務局長という大役をうけ一年経ちますが最近、
“笑顔”なしでは、質の向上はあり得ないのではないかと
思います。私自身これから先、“笑顔”と“笑い”をモットー
に微力ながらも協議会のためにも「輪」を盛り上げて参
りたいと思っております。

今後皆様方のご協力をお願い申し上げます。



『新年のごあいさつ』

甘木朝倉介護保険事業者協議会
事務局長 釜堀 始

事業報告

設立2周年イベント

去る平成14年10月12日(土)三輪町のめくばー三輪において甘木朝倉介護保険事業者協議会設立2周年イベント「生涯現役～老いてもなお～」というテーマにて公開事業が行われました。会場には約280名ほどのご来場者があり、当協議会への関心の高さが伺われました。開会の挨拶は当協議会副会長の平田克實より「生涯現役」について挨拶を行い、来賓を代表して三輪町町長手柴豊次様よりご挨拶がありました。会長挨拶の前に第一部として介護老人保健施設サンビレッヂ朝日ヶ丘通所リハビリテーション支援相談員の森昌広さんにより訪問系サービス紹介(訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハビリ)がスライドを使って行われました。今回は、介護保険制度のサービスの主となるサービスの訪問系サービスをご紹介させていただきました。第二部にアクションとして三輪町の合唱団「夢気球みわ」(代表行武須磨子様)の28名による合唱「旅愁」他3曲があり、その後に来るごとデイサービス日迎の園の介護職員坂本初男さんと高岩千草さんの二人でリハビリ体操を行い、会場の皆さんと一緒に指体操を楽しくされました。会場の皆さんもリラックスし楽しい時間が過ぎました。

「人生に最終回はない」 稲尾和久氏 来たる



▲坂本 初男氏(日迎の園)



▲高岩 千草氏(日迎の園)



▲「夢気球みわ」による合唱



▲リハビリ体操風景

第三部で今回のテーマの「生涯現役～老いてもなお～」元西鉄ライオンズ投手稲尾和久さんによる「人生に最終回はない」という講演会を行いました。講演の前に当協議会火野坂副会長より稲尾和久さんの簡単なプロフィールのご紹介があり、講演会が行われました。稲尾さんは、幼少の時から、中学・高校時代の野球部の話や、プロに入った話などをされました。特に、長島茂雄さんや、野村克也さんの話のときは会場から笑いが出ていました。最後に稲尾さんは、野球で培ったことをどんな状況でも勝利という言葉をもとにして生きてきた、野球は9回で終わりだが、人生には終わりがなく、だが、最後は勝ったと思って人生を終わりたいものだとおっしゃっていました。なお、会場のロビーで甘木・朝倉各地区の高齢者と障害者の作品展「わたしたちの生きがい作品展」と題して作品の展示を行いました。訪れた人は高齢者のすばらしい作品に、感心していました。



▲生きがい作品展の様子

また会場外では、福祉用具の展示と電動カートの試乗会があり、たくさんの方が訪れていました。

以上で、今年度の設立イベントは幕を閉じました。

関係機関の方、作品を展示された方有り難うございました。

(記 広報部 野口 秀康)



▲講師 稲尾 和久先生

訪問介護部会

部会長 鶴我 ケイ子

一部会内容一

1. 現場の声をケアプランに反映する提案について
(訪問介護の現場から困っている事、対応の工夫を
してもらいたい事等を提案していく)
 - ①家事援助の場合
 - ・掃除1時間のプラン：家の広さや散乱の具合に合
わせてプランを組んでもらいたい。
最初に大掛かりに片付ける為、2人配置等の対応
が必要な事もある。
 - ・痴呆の方に対して：1人がコミュニケーションを
とり、1人が片付けに入る様にしないとできない
所もある。
 - ・点数不足の方の中で：不足しているのにそれ以上
のものを要求される。ニードとしてプランにあげ
る工夫をしてほしい。
 - ・1人分の食事作りで：1人分で作っているのに多
量に作る様に要求され、他の人が食べる。
 - ・必要とされるプランがない：本人が必要としてい
る事、困っている事へのプランがないので、出来
ないで困っている。(窓ガラス拭き、草取り等)
 - ・ヘルパー自身の知識：シルバー人材の利用法やそ
の人の状態に合わせて保健福祉サービス等の知識
をヘルパー自身も持たなければならない。
 - ②身体介護の場合
 - ・健康チェック：入浴前は、体温・血圧を計る必要
があるのではないかな。
 - ・在宅医療、在宅酸素利用者の健康管理について：主
治医、訪問看護、ケアマネとの連携が必要。
 - ・ケアプランの提示：他事業所から依頼がきた場合
に、ケアプランの①②③⑦が提示されていないこ
とがある。
身体介護において①動作介助②身の回り介助③生
活介助等の具体的な内容をケアプランに入れてほ
しい。
 - ・ケアマネへの連絡等：利用者が必要としている事
をケアマネへ伝えていく事が必要。
 - ・薬の服用介助：服用がきちんとされているか確認
が必要。
- ※ 薬に関するセミナーを開催してほしい。

第8回開催 H14.11.26 全12事業所中6事業所、9名が参加

通所リハビリ部会

部会長 森 昌広

一部会内容一

1. レクリエーション実技
3施設の実技内容披露
 - ① ・リハビリ体操 ・棒倒しゲーム ・似顔絵ゲーム
 - ② ・物送りゲーム ・サイコロゲーム ・傘玉入れ
 - ③ ・ゲートボーリング ・数字合せゲーム
2. ケアプランについて
 - ① 作成・記録の問題点 ② 評価 ③ 記録の簡素化
3. 利用状況及び問題点
 - ① 曜日による利用人数の違いが大きい
 - ② 送迎のトラブル発生時の対処法
 - ③ 前回の問題点の経過

第6回開催 H14.9.11 全8事業所中7事業所、14名が参加

訪問入浴部会

部会長 芳野 和子

一部会内容一

今回は訪問入浴車のメンテナンスを主として部会を開き
ました。
株式会社デベロ福岡営業所サービス課の方2名様にお出
でいただき、疑問に思っていることなどを中心にご指導
を受けたり、日頃の大切な整備や点検の方法・アドバイ
スと時間いっぱいまでノート片手に勉強させていただきました。

1. 入浴者のメンテナンス
3事業者 デベロ製移動入浴車
各部門の掃除の仕方の指導を受ける。
掃除と整備を毎月一回行いことで水漏れや給水・給
湯の出を正常に保ち、かつ入浴車の長持ちにもつな
がり、訪問入浴サービスの安定による円滑な稼働が
できる事。
浴槽セット時は下から上の順で行い、同時にセット
すること。
担架にネットをセットする場合は足元のワイヤーを
引きながらゆるめる事。
ワイヤーの異常音やハンドルの重いときはグリスを
使用する場所の指導。
2. 意見交換
各事業所共に利用者が少ないことの悩みがあり、一
つの案として、各部落の民生委員さんの会合のとき
に少し時間をいただいて、訪問入浴のよさを解って
いただけるように説明し、デイサービス等で入浴
との違い(入浴車の場合、浴槽が浅いので臥床し
たまま入っていただけることや自宅まで訪問しベッ
トの横でできる)等のことを紹介していただけるこ
とも有るのではないのでしょうか？
入浴車に関しても点検の箇所と仕方について困って
いることが多いとの意見がありました。
3. その他
質問として
 - ・浴槽内についている線の意味は？
 - ・ホースの長さによる湯温の変化は何度ぐらい？
(浴槽にお湯を1~2分間流し、それから湯をはる
ときほどの差はない。)
 - ・各部分の交換時期の目安など。
と質問が出ていました。質問に対して
注意点としては、月一回の点検と掃除を行うこと。
わからない事はデベロの方に電話やFAXでお尋ねく
ださいとのことでした。
その他、ポンプの掃除も部品を外して拭くこと。
ポンプ故障時は整備終了まで貸し出しができる。
以上のような事を入浴車を実際に使用してのご指導
を受けました。
皆さん大変良い勉強ができたことと感謝されました。

第9回開催 H14.9.10 全3事業所 11名が参加

訪問看護部会

部会長 鬼塚 純子

—第14回部会内容—

1. 拡大会議報告
2. 当事業者協議会特別記念事業について、訪問看護PR内容の検討
特別記念事業の在宅サービス紹介に訪問看護サービス時の写真や在宅酸素療養者、簡単なリハビリの写真を紹介する。
訪問看護内容を周知徹底するには、訪問看護を利用された家族からの口コミ情報が有効なので看護師自身も機会あるごとに訪問看護内容の紹介をする。
3. 当日の参加については、甘木朝倉医師会の研究発表会で訪問看護が発表する為両方の参加を願う。
4. 老人医療費一部負担額の変更について
平成14年10月1日より高齢者医療費自己負担が変更になります。利用者の方へ説明をする。同時に医療証の確認を行う。

—第15回部会内容—

1. 拡大会議報告(たちあらい訪問看護)
2. 10月12日の特別記念事業について
医師会研究発表(訪問看護部発表)後の移動で稲尾和久様特別講演途中からの参加になった為、在宅サービス紹介を見ることが出来なかった。
3. 訪問看護とケアマネジャーとの連携
重症度の高い利用者に急遽訪問看護開始する症例があった。緊急時のために利用チェックシート作成が必要。
訪問看護サービス開始時は、主治医との情報交換はもちろんの事、ケアマネジャー、訪問看護の3者による利用者のニーズと必要な医療の再確認がケアプラン上も重要になってくる。介護力、経済力など基本項目をもとにチェックシートを作成。
各事業所により訪問活動内容など異なることがあるが、スムーズに訪問看護サービスが提供出来るよう、ケアマネジャーや各事業所との日頃のコミュニケーションと連携が必要。
介護保険利用者でも、急遽訪問看護が必要になったり、状態が悪化した時など、要介護度に関係なく、主治医の指示で医療保険(特別指示書)対応ができる。これからの訪問看護利用目的に高齢者の健康維持、低下予防、廃用症状阻止など大きな意味合いを持っている事を認識して頂く。

第14回開催 H14.10.8 全4事業所、4名が参加

第15回開催 H14.12.3 全4事業所中3事業所、3名が参加

通所介護部会

部会長 出水 清治

一部会内容—

1. 設立2周年記念公開事業から
・めくばーる三輪で実施され約250~300名の参加。
・稲尾和久氏の講演は、わかりやすい話だった。
・お年寄りの方の作品展示は、数多くの作品が出品された。
2. 各事業所独自のサービスメニューについて
・家庭菜園で野菜作り(収穫は、利用者ともに行う)
・お風呂の充実(薬草風呂、ラジウム風呂等)・食事の充実(さしみ、季節の素材等)・行事の招待・作

- 業療法士をおきりハビリの充実
- ・花作り(苗は施設で準備し家庭に持ち帰ってもらい育ててもらおう)
 - ・誕生者には、はがきや誕生カードを渡している
 - ・家族の方対象に介護者教室、予防教室を実施している
 - ・ゲートボール、映画ビデオ鑑賞・利用者を対象とした健康教室・日帰り旅行、一泊旅行(実費は自己負担)・陶芸教室・野球観戦・ドリンクサービス(数種類準備している)

3. 事例検討
 - ①利用料滞納の利用者について
・利用中止・職員が電話し集金・家族に話し利用は継続している
 - ②アルコール依存症の方の受け入れについて
・関係者に協力依頼・利用前に飲酒の場合利用中止・契約書に明示する
 - ③暴力、異常行動がひどい利用者の対応
・職員がマンツーマンで対応・被害が出たら家族と話し合う・契約書に明示
4. その他
・11月13日のスタッフセミナーに参加されていない方の為に資料を参照する

第10回開催 H14.11.15 全10事業所中9事業所、12名が参加

介護療養施設部会

部会長 山岸 久子

—第13回部会内容—

1. 前回議事録の確認
2. 各施設の病床利用状況
・稲永病院—満床状況
・香月病院—満床
・太刀洗病院—前回と変わらず
・甘木中央病院—89%
3. 症例カンファレンス及び問題点の検討
 - ①県からの指導で、施設から退院を強要してはならない・・・とあるが?
 - ②介護度は2~3が多い
 - ③ショートステイの部屋の問題
 - ④褥瘡について

—第14回部会内容—

1. 病床利用状況
2. 症例カンファレンス
*安全対策に関しての各病院の状況について
○皮膚剥離や誤薬や低温熱傷や乾燥剤・ウエルパス等の異食があがった
(対策) I. 病院全体で発生事故に対するカンファレンスを開催
II. 報告書の提出の徹底や事故に対して、一貫したスタッフへの指導
*床ずれ対策に関しての各病院状況について
 - (1) 除圧マットやエアマットを利用しているし、2時間毎の体位交換を徹底している
 - (2) 新たな取り組みなので軌道に乗る前で、スタッフはストレスがたまっている
 - (3) 尾骨や仙骨部の床ずれは、おむつの当て方を工夫したり、初期にバルンカテーテルを留置している
 - (4) 固定テープにビニールを使用している。

第13回開催 H14.9.19 全5事業所中4事業所、7名が参加

第14回開催 H14.10.17 全5事業所中4事業所、6名が参加

スタッフセミナーに参加して

11月13日（水）午後6時30分より第5回スタッフセミナーが開催されました。介護療養施設部会長であり、太刀洗病院病棟婦長の山岸久子さんの司会により講師のご紹介があり、あいおい損害保険株式会社の栗坪和徳氏をお招きし、「リスクマネジメント」をテーマにセミナーが行われました。各事業所より117名の参加があり、熱心に講演に耳を傾けてありました。

まず、リスクマネジメントのとらえ方について、某食品会社の偽装事件を例に挙げられミスは当然起こりうるものであり、事故の原因をつきつめて究明し防止策を講じる。ミスを犯しても事故にならないような仕組みを作ることが大切であるとの事でした。又、賠償責任の有無については介護のプロの立場で、予見可能であったか、回避可能であったかが判断の基準となり、安全配慮をつくせば防げた事故を起こすようであれば、サービスのレベルとしてはマイナスとなるのお話でした。賠償責任を無しにするには、①事故をゼロにする（努力をする）。②事故が起きても賠償請求されないようにする。③裁判に勝つの3点であり、④においては、サービス提供者と家族が同じ位置に立ち、何でも報告し相談しあえる仲になり、一緒に考え、解決しようとする関係づくりをする事がポイントと話されました。事実を隠す事は絶対にしてはならない事でリスクマネジメントの最大のリスクである事を力強く言われました。

いずれにしても、防げる事故は事前に防ぐ為にも、危険を探し出して安全対策を講じる事が重要で、その手がかりとして、「ヒヤリハット」の取り組み方を教えていただきました。①事故につながる危険性を出してもらい、どこにどんな危険があるかを知る。②利用者側、介護職側、用具施設側と多方面からの原因を探し出す。③すぐに実行出来る対策を講じる。②をいい加減にすると「ヒヤリハット」は長続きしないとの事です。

最後に、事故は起きてはならないものだが、事故が発生した場合の対応マニュアルを作成し、応急処置、連絡体制、事故後の対応を身につけ、事故処理の交渉については事業者側で行わず専門家に委ねる事も解決の方策だと話されました。

「リスクマネジメント」「ヒヤリハット」とは最近よく耳にする言葉であり、各事業所でそれぞれに取り組みを行っている問題ではありますが、ばく然としてわかりづらく、今回のセミナーで、具体的に提示していただき参加者も大変勉強になりました。

ケアの向上を目指し、各事業所ともさらなる取り組みを行っていく事と思います。

（記 広報部 熊谷真由美）



▲司会 山岸 久子
／介護療養施設部会 部会長
（太刀洗病院病棟婦長）



▲講師 栗坪 和徳氏



▲講演会風景



1. 冷凍食品の活用

- さといも**…皮をむき、切ってそのまま冷凍する。
- ご飯**…時間が足りない時や少量が足りない時は、1パック100g×6個で100円くらいである。
- 炊きたてですぐ食べないものは、1回分ずつおにぎりにして冷凍する。
- 味噌汁**…味噌をとき沸騰させないで冷蔵庫へ入れておき、使う分ずつ出して使う。
- 山芋**…山芋をミキサーにかけ、小分けして冷凍。解凍してしまう前に酢を落とすと色が変色しない。

2. お好みメニュー

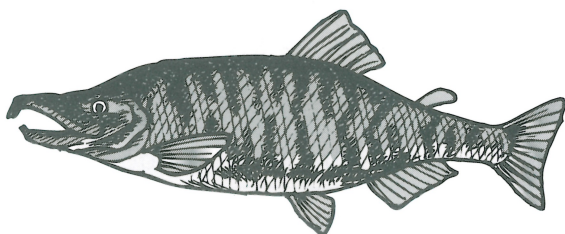
- 酢のもの**…合わせ酢は、ちょっと火にかけるとツンとした臭いなくなる。
- はやとうりの漬物**…義歯で切れやすく煮てもよい。
- 煮物、だんご汁・あんかけ

3. 冬場限定の知恵袋

- 湯たんぽ**…お茶用2ℓのペットボトルに熱湯を入れ、タオルでくるむ。朝、ぬるくなったお湯で顔を洗う。
- 暖房した部屋の空気乾燥防止に濡れタオルや洗濯物を干す。

【魚介類の料理の適応例】

	塩焼	南蛮漬	ホイル焼	ムニエル	トマト煮	煮付け	みそ煮	その他
アジ	○	○	○	○	○	○		揚げ物
タイ	○		○			○		蒸し物
サバ	○			○	○		○	竜田揚げ
イワシ					○			蒲焼
わかさぎ		○						フライ
シャケ	○		○	○				蒸し物
カレイ			○	○		○		揚げ物
タラ			○		○			蒸し物



ちょっと一工夫 ♪♪作りおき♪♪

1. 万能醤油(冷蔵庫で2週間保存がきく)

材 料 (出来上がり4カップ分)

- 醤油 3カップ
みりん 1カップ
砂糖 50g
だし昆布(20cm) 1枚
かつを節 20g

つくり方

- ① 醤油と昆布を火にかけ、みりん・砂糖を加える
- ② 沸騰直前に昆布を取り出し、アクを取りながら煮る
- ③ 沸騰したらかつを節を加えて一煮立ちさせ、火をとめてそのまま冷ます

〔万能醤油を使った料理〕

- 煮付けのベースとして使う。
- 牛ミンチに生姜のみじん切り少々、万能醤油と同量のみりん、水を加えて煮ると牛そぼろになります。茹でた野菜等にかける。
- 茹でた青野菜とゴマとで和えると、ゴマ和え。
- 鉄火丼のタレとしても使える。

2. みそだれ(冷蔵庫で約3~4週間保存がきく)

材 料 (出来上がり約2c分)

- 赤味噌 150g
白味噌 100g
砂糖 大さじ2~3杯
みりん 1/4カップ(50cc)
醤油 1/4~1/2カップ(50~100cc)

つくり方

- ① 赤味噌・白味噌・砂糖を火にかけ、みりん・醤油を加える。
- ② 一煮立ちさせ、荒熱をとる。

〔みそだれを使った料理〕

- みそだれと同量の酒・水とサバを煮れば、味噌煮になる。
- 豚肉と里芋等の根野菜とで豚汁の味付けになる。
- 豚ミンチとにんにく・生姜・適量の水とみそだれで肉味噌になる。茹でたうどんや野菜にかける。
- みそだれ5に対して砂糖1を加えてこんにゃくや里芋、豆腐に塗って焼くと田楽になる。

研修会報告 (居宅介護支援部会から)

去る12月6日(金)午後6時30分より甘木朝倉市町村会館において、居宅介護支援部会が開催され、ケアマネージャー研修の一環として講師に当協議会副会長で火野坂医院院長である火野坂徹先生を講師としてお招きし「医療保険と介護保険の比較(平成14年10月の医療保険の改定について)」をテーマに講義が行われました。(参加者総数43名、居宅介護支援事業所に所属されない方の参加も含む)朝倉苑居宅介護支援事業所の組坂敏和氏の司会進行により進められ、平成14年10月からの医療保険の改定により、老人医療が70歳から75歳に引き上げられたこと、70歳以上の高齢者の一部負担金は外来・入院とも定率1割、但し所得が一定以上の人は2割になったこと等をお話され、高齢者は10月より負担が増えたとおっしゃっていました。先生は、ケアマネージャーの方々に、「利用者に介護保険制度の利用の確認をよくしてから医療保険の改定を利用者に説明してほしい。」と言われました。在宅医療については、寝たきり老人在宅総合診療料(在総診)の患者さんの負担金の話や、介護保険の居宅療養管理指導料について話されました。最後に先生は、ケアマネージャーの仕事は利用者にとって大切だということをケアマネージャー自身に解っていただきたいということと、ケアマネージャーの皆さんに格言として「尻は軽く、口は重たく、施設の不利益かえりみず、要介護者の代弁者たれ」といわれ研修会は終了いたしました。

(記 広報部 野口 秀康)



▲司会 組坂 敏和氏
(朝倉苑居宅介護支援事業所)



▲講師 火野坂 徹先生

編集後記

新年を迎えて皆さんご多忙と思います。新年最初の会報はいかがでしたでしょうか。会報9号は皆さん年末の為、原稿の締め切りが過ぎても集まっていませんでしたがなんとか今年最初に発行することができました。これも皆さんのご協力のおかげと感謝しております。

「ヘルパーの知恵袋」など定着化してきました。今後も内容の充実をさせていく為にも皆さんからのご意見やご要望がございましたら遠慮なく広報部までお寄せください。(秀)

◆甘木朝倉介護保険事業者協議会ホームページ http://plaza22.mbn.or.jp/~kaigo_net/

事務局
甘木朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0815 福岡県朝倉郡三輪町大字野町2226-3
介護老人福祉施設 朝倉苑内
TEL (0946)22-2881 FAX (0946)24-8322

編集 / 発行所
甘木朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-0823 福岡県朝倉郡三輪町大字山隈501番地
介護老人保健施設 城山荘内
TEL (0946)22-1051 FAX (0946)22-1318
印刷 / 井上総合印刷株式会社